



MESSAGE NOTES

誰に認めてもらいたいですか？

ガラテヤ人への手紙 1:6-10

ロイド・フラハティ

1.好かれない

誰でも、特に若いうちは、人に好かれないと思うものです。しかし成長するにつれて、他人に好かれるためだけに自分を変えてはいけないということを学ぶことが大切です。

2.誰を喜ばせるのか：人間それとも神様？

この大きな問いは、私たちが誰から承認を得ようとしているのか、それは他の人々なのか、それとも神なのか、ということです。もし私たちが皆に好かれようとしてすべての時間を費やすなら、私たちは真のイエスに従う者であることを忘れてしまうかもしれません。

3.信じていることを変えることの問題点

時に人は、他人に好かれるために自分の信じていることを変えることがあります。例えば聖書では、ある人々が他の人々を喜ばせるためにイエス様の教えを変え始めた時期がありました。しかし、これは危険なことです。もしこのようなことを始めたら、私たちはもう本当の意味でイエス様に従っていないことになります。

ガラテヤ 1:6-10 6 私は驚いています。あなたがたが、キリストの恵みによって自分たちを召してくださった方から、このように急に離れて、ほかの福音に移って行くことに。

7 ほかの福音といっても、もう一つ別に福音があるわけではありません。あなたがたを動揺させて、キリストの福音を変えてしまおうとする者たちがいるだけです。8 しかし、私たちであれ天の御使いであれ、もし私たちがあなたがたに宣べ伝えた福音に反することを、福音として宣べ伝えるなら、そのような者はのろわれるべきです。9 私たちが以前にも言ったように、今もう一度、私は言います。もしだれかが、あなたがたが受けた福音に反する福音をあなたがたに宣べ伝えているなら、そのような者はのろわれるべきです。10 今、私は人々に取り入ろうとしているのでしょうか。神に取り入ろうとしているのでしょうか。あるいは、人々を喜ばせようと努めているのでしょうか。もし今なお人々を喜ばせようとしているのなら、私はキリストのしもべではありません。

まとめ：正直でいることと神様の承認を求めること

最も重要なのは、誰からも好かれるかどうかではなく、神が望んでおられるように生きているかどうかです。そうすれば、私たちは神の恵みと平安の中に生きることになります。